

泉州国際市民マラソン 第16回大会 2009年(平成21年)

SENSHU INTERNATIONAL CITY MARATHON THE 16th CONVENTIONS



16回目を迎えた泉州国際市民マラソンは、全国
のフルマラソンおよそ55大会の中で、9市4町の
行政組織が協力する地域性が結束した数少ない大会
である。沿道の声援もほとんど途切れることなく続
き、参加選手の評判も良好である。

今回は、マラソン大会では気温が15度にもなる
ランナーにとって暑い条件だったが、兵庫県宝塚出
身の箱根駅伝ランナー豊田崇（山陽特殊製鋼）が
30kmから独走となり2時間18分33秒で初マラソ
ン初優勝した。女子はロキシー・シュミットが2時
間47分52秒で2位を9分近く離し、圧倒的な初
制覇であった。昨年東京国際2位の加納由里は近く
に横浜国際駅伝の参加が予定されていたこともあっ
て30km地点で棄権した。びわ湖毎日マラソンで優
勝したこともある小島宗幸（旭化成）は2度目の市
民マラソン参加で、参加選手とのふれあいを楽し
みながら12位で余裕のゴールだった。

2月15日 日

天 候: 快晴
気 温: 15℃
参加者数: 2,770人
完走者数: 1,961人
沿道人数: 25万人



スタート間もなく最初の折返しに向かうトップグループ



フィニッシュに向かう多数のランナーたち

泉州マラソン400人健闘誓う 開会式



約3000人の市民ランナーが参加し15日開催される「第16回泉州国際市民マラソン」(読売新聞大阪本社、読売テレビなど後援)。14日、泉佐野市のホテルで開かれた開会式では、14大会連続出場となるシンガー・ソングライターの高石ともよみら約400人が健闘を誓った。

堺市から泉南市にかけての42・195kmのコースで臨まれ、昨年11月の東京国際女子マラソンで2位の加納由理選手や、2時間8分43秒の自己ベストを持つ小島宗幸選手ら主力派ランナーのほか、地元9市4町と姉妹(友好)都市提携する米国や豪州、中国、韓国などの各都市から外国人ランナーも参加する。

開会式では、大会実行委員長金田通・田尻町長が「10年の成長を十分に発揮して完走を目指してほしい」と激励。市民ランナーを代表し、入学意欲、前川拓加選手が「早稲の泉州路を力いっぱい駆け抜け、愛と信頼と友好の輪を広げたい」と宣誓した。

レースは午前11時、堺市西区の浜寺公園をスタート。府道堺阪南線(旧国道26号)を南下して泉南市の梅井浜口交差点で折り返し、泉佐野市のりんく公園のゴールを目指す。ゴール付近では地元の特産品の販売や、ホテル宿泊券などが当たる抽選会がある。

友好の外国人ランナーも

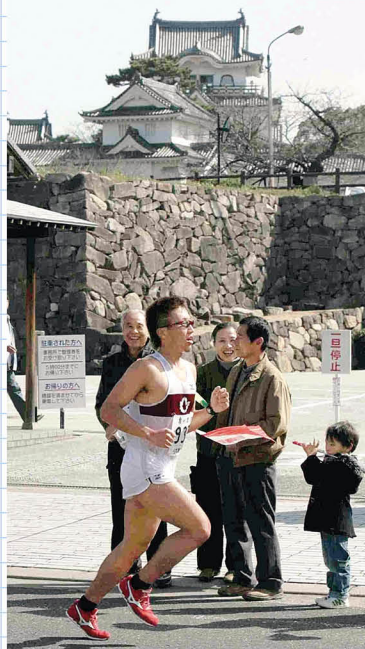
約3000人の市民ランナーが参加し15日開催される「第16回泉州国際市民マラソン」(読売新聞大阪本社、読売テレビなど後援)。14日、泉佐野市のホテルで開かれた開会式では、14大会連続出場となるシンガー・ソングライターの高石ともよみら約400人が健闘を誓った。

2009年(平成21年)
2月15日付朝刊

折り返しに向かう
ランナーたち



選手らに旗を振って応援する子どもたち



岸和田城前を力走する選手



ゴールした選手にタオルをかけるボランティア



会場に設置されたオーストラリア
山火事義援金箱

